

## 同窓会～記憶と近況

E組 西沢 洋明

平成30年7月15日に県陵倶楽部20の卒業50周年の記念写真撮影のため、県陵正面玄関前に集合した。先ず驚いたことは、前庭のヒマラヤ杉が大木となっていたことでした。50年、半世紀の時の流れをヒマラヤ杉の年輪として感じました。13:00集合で集まって来た仲間は74名だったとのことでしたが、新しく顔と名前が一致できた方は数名どまりだった。

私は、E組渡辺（サブちゃん）先生クラスで卒業させていただいた。サブちゃんにはあまり叱られた覚えはないが、拳骨を受けていた仲間もいた。浪人中までお世話になった。また、西沢先生（ユタンポ）には遠縁でもあったが、奨学金受給申請でお世話をかけた。卒業後は金がかからないとの話で信大教育学部を卒業したが、カナダ、アメリカを無銭旅行することが夢で、1年間旅行後に帰国して民間会社に入ってしまった。トヨタ系列の会社で定年したが、メキシコ工場立上げで3年半をメキシコで、また、海外拠点への出張も多く、グローバルな経験ができたと感謝している。

今は、生まれ育った地区への恩返しのつもりで、公民館活動として下鳥羽の古文書を読む会を立上げ、昨年は「下鳥羽の古文書を読む」を刊行し、安曇野市と松本市の図書館、文書館、長野県立歴史館等への寄贈もさせていただいた。今年は、戦後生まれの団塊世代として「太平洋戦時下の下鳥羽の記憶～対馬丸と西沢船長～」なる冊子の刊行を予定している。

そんな記録を残す活動で、E組の卒業写真、半世紀前の写真を見つけたので添付させていただいた。どなたかに写真に合せた氏名表をお願いしたいが……。

最後に県陵倶楽部20のみなさまのご健勝をお祈りいたします。

